

(2) 算 数

領域・小問ごとの分析	対策の視点
<p>□ 数と計算</p> <p>1. 加法、減法の計算</p> <p>(1) 1位数+1位数の計算 正答率は98%と大変よい。繰り上がりのない計算である。</p> <p>(2) 1位数+1位数の計算 正答率は94%である。誤答の中には、12、14などのように計算ちがいによる誤りが見られる。</p> <p>(3) 1位数+2位数の計算 正答率は96%とよい。繰り上がりのない計算である。</p> <p>(4) 1位数+2位数の計算 正答率は93%である。誤答の中には、1位数どうしの計算の誤りが見られる。</p> <p>(5) 2位数+2位数の計算 正答率は95%である。誤答の中には、37などの誤りが見られる。</p> <p>(6) 1位数-1位数の計算 正答率は92%である。誤答の中には、4のように、指を使っての減法過程での誤りが目立つ。</p> <p>(7) 2位数-1位数の計算 正答率は85%である。誤答の中では、7、13などのような指を使った減法過程での誤りが見られる。</p> <p>(8) 2位数-2位数の計算 正答率は88%である。誤答の中では、100のように80と20の数を見て反射的に合成してしまったと思われる誤りが目立つ。</p> <p>(9) 2位数-1位数の計算 正答率は82%である。誤答の中では、</p>	<ul style="list-style-type: none"> 加法の計算はよくできているが、指を使っての数えたしは早く卒業させるようにさせたい。 減法の指導にあたっては、具体物から、えん棒やタイルなどの半具体物を通じ指導するとともに、位取り板を使って数操作が確実にできるようにさせたい。